



令和4年4月12日

各 位

会 社 名 株式会社ナカノフドー建設  
代表者名 取締役社長 竹谷 紀之  
(コード番号 1827 東証スタンダード)  
問合せ先 経理部長 前澤 孝  
(TEL 03-3265-4664)

### 内部調査委員会の設置及び令和4年3月期決算発表の延期に関するお知らせ

この度、当社の海外連結子会社タイナカノ（当社出資比率49%）において、不適切な会計処理が行われていたことが判明したため、事実確認及び原因究明、当社グループ全体での類似事案の有無の確認、再発防止策の策定を目的として、外部有識者を中心メンバーとする内部調査委員会を設置することを決定いたしました。

また、令和4年3月期の決算発表につきましては、内部調査等に一定期間を要することから、延期することといたしましたので併せてお知らせいたします。

株主、投資家の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なるご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

### 記

#### 1. 本事案の概要

本事案は、海外連結子会社タイナカノにおいて、平成31年3月期から令和4年3月期にかけ、複数工事での原価付け替えにより費用が繰延べられていたことが、タイナカノの社長（日本人・当社からの出向者）からの報告により発覚したものです。

現時点で判明している費用の繰延べ額は総額約240百万円で、追加の原価計上が必要となります（連結の売上総利益、営業利益、経常利益、税前利益への影響額が約240百万円で、親会社株主に帰属する当期純利益への影響額はその49%の約118百万円）。また、決算期を跨いでいることから、今後、原価の計上時期を精査し過年度決算を訂正させていただく予定です。

#### 2. 内部調査委員会の設置について

本事案の調査と共に、類似事案の有無の確認等が必要であるため、調査委員会を設置して、グループ横断的な調査を実施いたします。

調査体制は、当社の経営者の関与は認められていないこと、また、類似事案の有無確認調査は、建設工事の現場の原価管理に精通した社員の調査への参加が必要であることから、「内部調査委員会」としますが、調査の精度や信憑性を高めるため、委員会は外部の弁護士や公認会計士、独立社外役員を中心とする構成とし、当社のコンプライアンス部等の社員が委員会メンバーを補佐いたします。

(1) 内部調査委員会の調査目的

- ・ 本事案の工事原価の計上漏れ額と、連結財務諸表等への影響額の確定
- ・ グループ全社における類似事案の有無の確認
- ・ 本事案の原因等の分析(動機・経緯・指示命令系統等)
- ・ コンプライアンス体制と業務監査体制の検証(特に海外現地法人)
- ・ 内部統制に係わる検証
- ・ 再発防止策の策定

(2) 内部調査委員会の構成

委員長	関澤 秀哲	独立役員	当社社外監査役
委員	真鍋 朝彦	公認会計士・高野総合会計事務所	代表社員 ※1
委員	伊藤 拓	弁護士・御堂筋法律事務所	パートナー ※2
委員	田中 剛	弁護士・御堂筋法律事務所	※2
委員	福田 誠	独立役員	当社社外取締役
委員	大島 義信	当社取締役常務執行役員	社長室長

※1 高野総合会計事務所と当社の間取引関係はございません。

※2 御堂筋法律事務所は当社の業務上の訴訟案件をお願いしております。

3. 決算発表の延期について

上記のとおり、内部調査委員会を設置して実態の解明を進めることとしておりますが、事実関係の調査や決算数値の確定作業には一定の期間を要することから、令和4年5月13日に予定しております令和4年3月期の決算発表を延期することといたしました。

4. 今後の対応について

今後のスケジュールにつきましては、内部調査委員会による調査結果を踏まえ、過年度決算を訂正した上で決算発表を行う予定です。正式な日程が決まり次第、改めてお知らせいたしますが、内部調査の結果と再発防止策については、5月下旬までを目途として公表させていただきます予定です。

以 上